

☆話題—宗教と食肉

宗教によっては食べてはならない動物が存在するというのは広く知られている事実でしょう。有名なものは『イスラム教徒は豚肉を食べてはならない』とか『ヒンドゥー教徒は牛肉を食べてはならない』などでしょうか。実はこれは正確な情報ではなく、話はそんなに単純ではないようです。

イスラム教徒は豚以外の動物の肉であっても、特殊な様式に従ってと殺・解体処理されたハラールミートでなければ食べられません。ヒンドゥー教徒は宗派によって違いがあるようですが、牛肉どころか肉食そのものが避けられるようで、特に牛は神聖な動物であるため、豚は不浄な動物であるために食べることは禁忌とされているようです。他にもまだまだ沢山思っていたのと違うというルールがあり、ここではとても紹介できません。

これから国際化がますます進み、宗教も多様化していくことが予想されますが、勝手な思い込みや決めつけで不必要なトラブルを起こさないよう気を付けたいものです。(F)

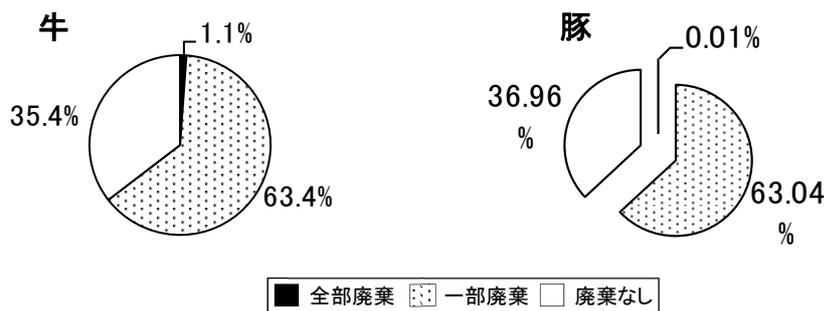
参考：東京都多言語メニュー作成支援ウェブサイト  
<https://www.menu-tokyo.jp/menu/hospitality/religion.php>

☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和3年7月～9月)

畜種	牛		とく		豚		山羊		
	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	
と畜検査頭数	1,236		1		14,225		0		
実頭数	14	784	0	1	1	8,967	0	0	
廃棄の原因	放線菌症	0	1	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	25	0	0
	ジストマ	0	1	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	4	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	0	0	0	0
	敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿毒症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	1	0	0	0	1	0	0	0
	水腫	5	145	0	0	0	34	0	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	1	0	0
	炎症汚染	0	546	0	1	0	6,212	0	0
	変性萎縮	0	407	0	1	0	3,524	0	0
	牛伝染性リンパ腫	8	0	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	143	0	0	0	1,038	0	0	
計	14	1,243	0	2	1	10,838	0	0	

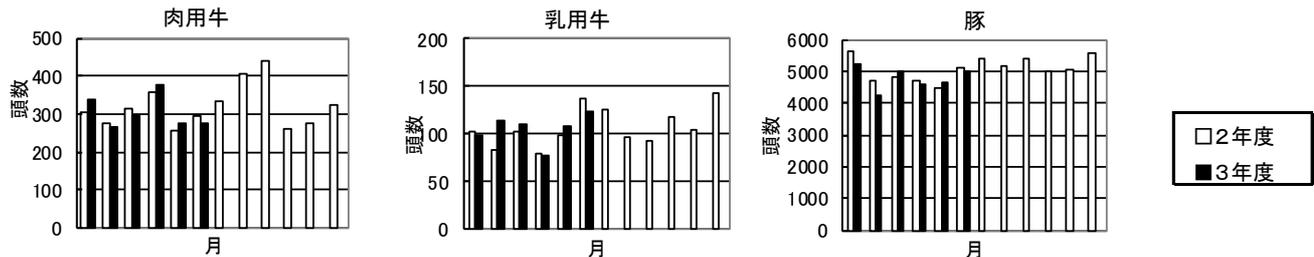
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。



◎と畜検査頭数の推移（令和3年度）（とくを除く）

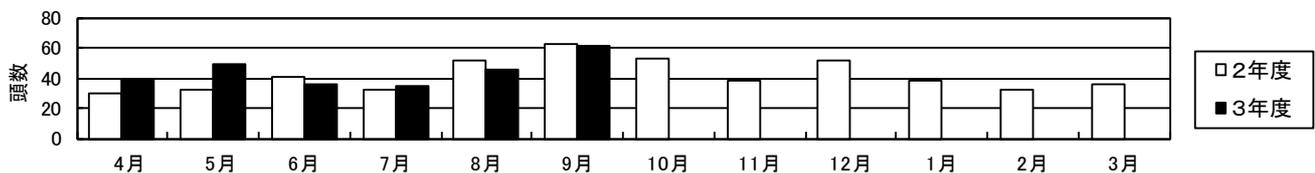
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度肉用牛	304	275	315	357	258	295	332	408	439	260	276	324	3,843
3年度肉用牛	338	266	293	379	276	274							1,826
前年比(%)	111.2	96.7	93.0	106.2	107.0	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.5
2年度乳用牛	101	82	102	78	98	137	124	96	92	117	103	143	1,273
3年度乳用牛	98	114	109	76	108	122							627
前年比(%)	97.0	139.0	106.9	97.4	110.2	89.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49.3
2年度豚	5635	4711	4847	4705	4482	5111	5432	5180	5403	4991	5067	5578	61,142
3年度豚	5244	4260	5006	4573	4657	4995							28,735
前年比(%)	93.1	90.4	103.3	97.2	103.9	97.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.0

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数(令和3年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	30	32	41	32	52	62	53	38	52	38	32	36	498
3年度	40	49	36	34	46	61							266
前年比(%)	133.3	153.1	87.8	106.3	88.5	98.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.4



7月～9月の病獣畜 141 頭の内訳は、牛およびとくが 136 頭、豚が 5 頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数(令和3年7月～9月)

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
(時間外) 6:00～8:30	2	2	0	1.4
(時間内) 8:30～14:00	134	131	3	95.0
(時間外) 14:00～16:00	1	1	0	0.7
16:00～20:00	0	0	0	0.0
土曜日等	4	3	1	2.8
合計	141	137	4	

※土曜日等に病獣畜が搬入されるのは、死に瀕している等、緊急性を要する場合のみである。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数(令和3年7月～9月)

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	31	0	3	77	10	3	2	6	2	1	6	141
(うち時間外)	(2)			(1)		(1)		(2)			(1)	(7)
頭数割合(%)	22.0	0.0	2.1	54.6	7.1	2.1	1.4	4.3	1.4	0.7	4.3	

☆検査室等における精密検査（令和3年7月～9月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子						病理組織	肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学		
牛及びとく	1	敗血症			8				0	1	豚	0	敗血症							0	0
	0	膿毒症							0	0		0	膿毒症							0	0
	2	尿毒症					2		0	2		0	尿毒症							0	0
	4	高度の黄疸					4		1	3		1	高度の黄疸				1			1	0
	5	高度の水腫	5						5	0		0	高度の水腫							0	0
	9	牛伝染性リンパ腫					9	81	8	1		0	豚丹毒							0	0
	0	腫瘍の多発							0	0		0	白血病							0	0
	21	計		5	0	8	0	15	0	81		14	7	1	計		0	0	0	0	1

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和3年7月～9月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	8	16	8	0	0	0	0	0	0	16
	病畜	136	272	135	1	0	1	0	0	0	271
豚	保留	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2
	病畜	5	10	5	0	0	0	0	0	0	10
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

病畜牛の腎臓1検体において、直接法陽性であった。

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	6	12	6	0
豚	30	60	30	0
鶏	1	2	1	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和3年7月～9月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、月齢24か月以上で、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所  
 TEL：086-272-8399 FAX：086-273-2019  
 E-mail：shokunikueiseikensasho@city.okayama.lg.jp  
 「枝肉を全部廃棄した牛の解体所見」のメール配信希望等、ご意見、ご要望  
 ありましたらお気軽にご連絡ください。